

2年 道徳通信

2021/10/15

2年 道徳担当

田代中学校2年生の前期の道徳の取り組みを紹介します。昨年度同様に道徳の授業は担任だけではなく、2年生担当全員で毎週行っています。生徒が印象深かった授業として挙げたものの中から、「名乗り出なかった友」、「リスペクト アザース」、「話してくれてありがとう」の感想を紹介します。

	教材名	主題名
1	自分の弱さと戦え	自分の弱さの克服
2	おばちゃんのくれた“おまじない”	働くということ
3	挨拶は言葉のスキンシップ	心を形に
4	最後のパートナー	支え合う生命
5	五月の風 ーカー／ノミカー	自分を信じて／本当の友達
6	リスペクト アザース	個性を尊重する社会
7	名乗り出なかった友	さりげない優しさ
8	戦争を取材する	真実を追い求める
9	海と空 ー櫻野の人々ー	国際社会の一員
10	美しい鳥取砂丘	規則の役割
11	和樹の夏祭り	地域の伝統の大切さ
12	さいちゃん	家族のきずな
13	話してくれてありがとう	差別や偏見のない社会の実現

【教材名】名乗り出なかった友（名乗り出なかった友）

【ねらい】相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある暖かな人間関係を築こうとする態度を養う。

【あらすじ】困っているお年寄りを助けた友達とは違い、何もできなかった「僕」は、さりげなく優しさを行動に移す大切さについて考えていく。

知らない人に声をかけるのはなかなかできないことだけど、勇気も

も、声をかけてみることは大切だと思った。さりげない優しさで

たくさんの方が嬉しくなるので、思いやりを忘れないうようにしようと思った。

さりげない優しさがあると感動した...

今までこういうことをしたことになかったけどこれから

人が困っていたら自信をもって声をかけたいです。

3人の中学生のなにげのない優しさで、おわりにいる色々な人が

幸せになるのだと分かった。私もこの中学生みたいになにげ

ない行動で自分を助ける人も笑顔にしたいと思う授業だった。

助けた普通は人に自慢するけど言わないのがすごい。そ

で、こんなふうになりたいと思った。

【教材名】リスペクト・アザース（個性を尊重する社会）

【ねらい】他者の個性と人権を尊重する大切さに気づき、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲を育む。

【あらすじ】アメリカのサンディエゴ生まれの「僕」が、幼い頃から教えられた「リスペクト アザース」の意味について考える。

私は、正解が不安で、手を挙げませんでした。でも、失敗をおそれていた。何もできないので、たがいの個性を尊重し合って、生活していこうと思いました。

周りの目を気にしてばかりで、自分の個性が出せないことが多い日本。リスペクト・アザースはたがいの個性を尊重しようこと。これから、自分も他人もいるなところを認め合い、尊重していけたらいい。

今、大人になってから、自分の良さを言えなくなるというところで自分と身近に感じた。リスペクト・アザースを読んで自分に自信をもてるようになった。

「リスペクト・アザース」を意識して、人のことを尊重して生きていきたいと思った。一人一人が人を思いやり、尊重してあげるよう、私の創作「リスペクト・アザース」を広めていきたいと思った。

【教材名】話してくれてありがとう（差別や偏見のない社会の実現）

【ねらい】人間がもっている差別心や間違った考え方について振り返り、これから人とどう関わっていくべきかを考えさせるとともに、差別は絶対に許されないという意識を育む。

【あらすじ】差別を受けていた地域出身だったことで、結婚が破談になった母や姉。出身を人に言う必要はないと母に言われた筆者は、交際して2年の彼にカミングアウトすることを決意する。

社会の授業とむすびつけてより心にのこるものがあった。授業で学んだ「部落差別」についても、世の中の人に知ってもらい、苦しむ人が少しでも減れば、いいなと

差別で苦しむ人がいる。そしてその差別には何の根拠もないことだと知り、差別をしない、させないことがどれだけ大切かがよく分かりました。そして差別をいかになくしていくか、苦しむのか、かかれば、今からでも差別を自分達の手でなくしていくか、かかれば、なさいと思いました。

思った。

差別に関する事だから、黒人差別やアジア人差別など、世界的に問題な内容かと思いましたが、日本でもまだ差別があることを知り、世界の差別をなくせば日本から変えていけると思

って、自分も差別に反対の気持ちを持つ。

